

全国知事会議 セッション「こども・子育て政策」の概要

1. テーマ

地方から起こそう！「こどもまんなか」ムーブメントの輪！！

2. テーマ設定

(1) 趣旨

こども・子育て政策を強力に推進するためには、国と地方が連携を密にし、社会全体でこども・子育てを支えていく機運を高めていくことが極めて重要である。

国が掲げる「こどもまんなか」社会の実現に向けて、地方から機運醸成のムーブメントを起こすため、地方に求められていること、地方行政自らが率先して行うべきことを議論し、各都道府県での更なる取組推進に繋げる。

(2) 議論の方向性

- ・ こども・子育てを巡る現状や国内外の先進事例から、機運醸成のために地方行政に求められる役割について議論する。
- ・ 性別や世代に関わらず、行政職員が率先して子育てに参画するために必要なことについて議論する。

3. 参加メンバー

(1) 有識者 2名

京都大学大学院人間・環境学研究科 教授 柴田 悠 氏

特定非営利活動法人ファザーリング・ジャパン 理事 徳倉 康之 氏

(2) 全国知事会 滋賀県知事（座長）

参加希望知事 10名程度を想定

4. 進行概要

（計 120 分）

時間	内容	
10分	開会・趣旨説明	座長（三日月知事）
45分	話題提供・質疑応答	有識者講演（各15分×2）＋質疑（5分） 意見交換に向けた論点等整理（10分）
50分	意見交換・取組発表	各知事から順に取組発表および自由討議 有識者から適宜コメント
5分	講評	有識者から
10分	総括・閉会	座長（三日月知事）

令和5年 全国知事会議 in 山梨

「多様な個性が認められる社会の実現について」概要

1. テーマ

多様な個性が認められる社会の実現について

2. テーマ設定の趣旨

- 少子化・人口減少が進む中で、我が国が、今後も持続的に発展していくためには、年齢や性別、障がいの有無や国籍、^ソ^ジSOGI (性的指向・性自認(ジェンダーアイデンティティ))などの違いにかかわらず、多様性が尊重され、誰もが、個性や能力を最大限発揮し、一人ひとりが幸福を実感できる社会の実現を図っていくことが重要である。
- 多様性を理解し、認め合い、受け入れ、支え合う、寛容性のある社会を実現することで、異なる考えや能力が相乗効果を生み、地域に新たな活力が生まれることも期待される。
- 世界の状況を見ると、日本は、G7で唯一「LGBTQへの暴力や差別」を解消するための法律がない国であったが、先の国会において「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」が成立し、公布・施行されたところである。こうした中で、多様性を巡る様々な意見を知り、理解を深めていくことが必要である。
- セッションでは、多様性を巡る海外の情勢や問題を学び、我が国やそれぞれの地域に置き換えた場合の課題などに対応するための気づきが得られるような機会とし、多様な個性が認められる社会の実現を目指す。

3. 参加メンバー

(1) 話題提供者

- 青山学院大学法学部ヒューマンライツ学科教授 谷口洋幸 様
- 神戸大学大学院国際文化学研究科教授 青山 薫 様
- セガサミーホールディングス株式会社 執行役員 サステナビリティ本部長
セガサミービジネスサポート株式会社 代表取締役社長 一木裕佳 様

(2) 全国知事会 山形県知事(座長)、参加希望知事 10名程度を想定

4. 進行概要(案)

(計 120 分)

時間	内容	
5分	開会(有識者紹介・趣旨説明)	座長(吉村美栄子山形県知事)
60分	話題提供	谷口教授、青山教授、一木社長
50分	話題提供者との質疑を中心に意見交換	谷口教授:「国際人権(SOGI差別など)の視点からの日本の現状と課題について」 青山教授:「多様な家族の形・パートナーシップ制度の現状と日本社会で持つ意味」 一木社長:「企業の成長につながる多様性について」
5分	閉会(総括・有識者コメント)	一木社長、青山教授、谷口教授、座長

1 テーマ

脱炭素地域実現に向けた課題と解決策

～企業等との共創の可能性と在り方の模索～

2 テーマ設定の趣旨

- 脱炭素地域を実現するためには、行政だけでなく、技術進展の速度が速いとされる脱炭素ビジネス分野で活躍する企業等を含め、多様なステークホルダーと共創していくことが効果的である。
- ベンチャー企業や先駆的な企業等とセッションを行うことで、行政と企業等による新たな課題解決の手法を探るとともに、共創の可能性や在り方について考えるきっかけとしたい。

<進め方>

- ・脱炭素地域づくりに向けた課題を共有。
- ・課題に対するソリューションをピッチ形式で提案いただき、参加知事から質疑応答。
- ・共創の可能性や在り方等について議論。

自治体が共創するときの課題は何か、企業側から見たときに自治体がどうあれば共創しやすいのか、共創の方向性はどんなものがあるのか、など。

3 参加メンバー

- 全国知事会 長野県知事(座長)
参加希望知事 8名程度を想定
- ベンチャー企業等 5社
戸田建設株式会社、株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ、株式会社グリッド、株式会社 WELLNEST HOME、株式会社パワーエックス

4. 進行概要・内容

(120分)

時間	内容	
3分	開会・趣旨説明	座長(阿部知事)
15分	基調講演	戸田建設株式会社
5分	第1部 課題共有説明	座長(阿部知事)
12分	企業ピッチ	3分×4社
40分	質疑応答	5分×8知事(知事3分・企業2分を想定)
40分	第2部 自由討論	「自治体と企業との共創」について(全員で討論)
5分	まとめ・閉会	座長(阿部知事)

令和5年夏の全国知事会議 セッションの概要

1. テーマ

デジタル技術等を活用した地方創生
～ 魅力ある地域の創造 ～

2. テーマ設定の趣旨

- ・コロナ禍によって、人々の価値観やライフスタイル、ワークスタイルに大きな変化が生じ、感染対策を通じて、社会全体でデジタルの浸透が進んでいる。
- ・一方、社会経済活動が日常を取り戻しつつある今、大都市圏への転入超過が再び拡大傾向となっており、コロナ禍で生まれた地方回帰の潮流が一過性のものになってしまうことのないよう、移住促進や地域産業の成長力強化、デジタル人材の育成など、都市部から地方部の人・産業の流れを生み出す魅力ある地域づくりが急務である。
- ・今回のセッションでは、地方における若者を中心とした人口流出対策やデジタル技術が地域にもたらす可能性などについて、有識者の意見を交えた議論を深め、地方部も都市部も輝く魅力ある地域の創造への糸口を見出していく。

3. 参加メンバー

(1) 有識者（2名）株式会社カヤック 代表取締役 柳澤大輔 氏
楽帆グループ 代表取締役社長 北村尚武 氏

(2) 全国知事会 愛媛県知事 中村 時広（座長）
参加希望知事 10 名程度を想定

4. 進行概要・内容案

（計 120 分）

時間	内 容	
5分	開会・趣旨説明	座長（中村知事） ・テーマ設定の趣旨説明 ・有識者の紹介
40分程度	話題提供	① 柳澤大輔氏 デジタルマーケティングを活用した移住促進策など（詳細調整中）。 ② 北村尚武氏 デジタルを用いた地方創生につながる新たな産業の創出など（詳細調整中）。
70分程度	意見交換	各知事から順に発言 及び 自由討議 有識者からも適宜コメント
5分	まとめ	座長（中村知事）による総括